

令和6年度 部会活動報告

環境安全部会

部会長 岡 宏樹

今年度も引き続きゴミの適正排出にむけた環境整備と地域課題対応に取り組ましました。

環境整備としては、主に次の取り組みを進めました。

- 当部会体制の整備
- 他地区との協業体制の整備
- 行政との協業体制の整備
- 地域の課題としては、主に次の課題に対する取り組みを進めました。
- プラスチック類の分別
- 電池の適正排出
- 鳥獣によるごみ散乱
- 監視カメラの設置と運用
- 非自治会世帯への冊子配布
- 収集方式に関する理解促進
- プラスチック類と電池については、分別方法や出し方について混乱や間違いが散見されている状況を踏まえ、適正分別排出を啓発するため毎年当部会で発行しているチラシ「正しく出してみんなが気持ちいい集積場所」を行政（資源循環課、環境センター）と連携しながら作成し、今年度と来年度にかけて発行して理解を深めていただく取り組みを進めました。

防災減災部会

部会長 石井 浩

会から適宜配布し、非自治会世帯の方々にも理解を深めていただく取り組みを進めました。

また、茅ヶ崎市が抱えるごみ収集の課題解決に向けて策定された文書「ごみ収集方式のあり方」について、鶴嶺東地区まちぢから協議会の全部会で行政より解説していただき、ステーション方式収集を維持する取り組みや戸別収集の継続検討などについて理解を深めていただく取り組みを進めました。

地域福祉部会

部会長 山上 壽子

地域福祉部会は、地域において様々な活動に携わっている方々で構成されており、子どもから高齢者まで幅広い年齢の方々が活動の対象となつているため、部会活動のテーマを一つにして部員全員で取り組むことが難しい問題があります。

今年度は、部会の皆さんからの意見をもとに、9月に車いす生活を送られている方と、視覚に障がいをお持ちの方にお越しいただいて、日常生活の様子や街中で困った時の体験等のお話を聞く機会を設けました。

10月26日（土）に当部会主催の合同防災訓練を実施いたしました。毎年、各自治会単位で安否確認を実施した結果を集計しておりますが、今回は土曜日にもかかわらず、半数以上の世帯の皆様に参加していただいたことが分かりました。安否確認は、災害発生時に家族や近隣の住人が安全な場所において無事なのか被害状況を把握する重要なことです。安否確認の実施方法が根付きつつある状況を今回も確認できたことで、あらためて住民の皆様の方意識が向上していることを実感できました。

今年度は、避難所における合同の防災訓練を実施することができませんでしたでしたが、各自治会毎に実施する訓練内容の充実化を図り、消火活動を体験する放水訓練や、要支援者の運搬訓練など多彩な訓練を実施することで、大規模災害に対する備えを強化している姿を拝見しました。

11月には、各所属団体の活動内容や様子、課題や問題解決のための取り組みなどの情報交換を行いました。どの団体も、担い手不足や企画・運営の大きな変革が多く課題としてあがっていました。各団体の活動や役割を共有し連携することで「つながる・安心できる地域」となるということと、連携の為にコーディネーターの役割を果たす存在が求められていることに気づかされた情報交換会でした。

1月には今年度の振り返りと次年度に向けての話し合いを行いました。部会の委員の方々から、部会で勉強したことや、情報などを自分の団体に持ち帰り伝え、広げていくことが大事だという意見やもっとつながりを作るために部会の回数を増やしてほしいなどの意見が出ました。

部会に参加することの意義や「知り合い、連携したい」の思いを受け止め、次年度に向けて部会運営に取り組んでいきたいと思ひます。



鶴嶺東地区を
みんなで助け合える地域に

自治会やイベントの手伝い、見守り活動など人手が足りません
少しの時間でもいいので
お手伝いお願いできませんか？



← 二次元コードから
鶴嶺東地区まちぢから
協議会の最新情報をご
覧いただけます

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会

▶トップページで鶴嶺東地区をクリック
<https://chigasaki-machiren.org/>